

スコアシート		実施設計段階				
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質						2.7
Q1 室内環境					0.40	2.9
1 音環境				3.0	0.15	3.0
1.1 室内騒音レベル			3.0	0.50	3.0	0.50
	1.2 遮音		3.0	0.50	3.0	0.50
	1	開口部遮音性能	3.0	1.00	3.0	0.30
	2	界壁遮音性能	-	-	3.0	0.30
	3	界床遮音性能(軽量衝撃源)	-	-	3.0	0.20
	4	界床遮音性能(重量衝撃源)	-	-	3.0	0.20
	1.3 吸音		-	-	-	-
2 温熱環境				2.2	0.35	3.0
2.1 室温制御			2.2	0.50	3.7	0.50
	1	室温	3.0	0.63	3.0	0.63
	2	外皮性能	1.0	0.38	5.0	0.38
	3	ゾーン別制御性	3.0	-	-	-
	2.2 湿度制御		1.0	0.20	3.0	0.20
	2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30
3 光・視環境				2.0	0.25	2.7
3.1 昼光利用			1.8	0.30	2.0	0.50
	1	昼光率	1.0	0.60	1.0	0.50
	2	方位別開口	-	-	3.0	0.30
	3	昼光利用設備	3.0	0.40	3.0	0.20
3.2 グレア対策			1.0	0.30	4.0	0.50
	1	昼光制御	1.0	1.00	4.0	1.00
3.3 照度			3.0	0.15	-	-
3.4 照明制御			3.0	0.25	-	-
4 空気質環境				3.0	0.25	2.8
4.1 発生源対策			3.0	0.60	3.0	0.63
	1	化学汚染物質	3.0	1.00	3.0	1.00
	4.2 換気		3.0	0.40	2.3	0.38
	1	換気量	3.0	0.50	3.0	0.33
	2	自然換気性能	-	-	1.0	0.33
	3	取り入れ外気への配慮	3.0	0.50	3.0	0.33
	4.3 運用管理		-	-	-	-
	1	CO ₂ の監視	-	-	-	-
	2	喫煙の制御	-	-	-	-
			-	-	-	-
Q2 サービス性能				-	0.30	2.7
1 機能性				2.2	0.40	2.5
1.1 機能性・使いやすさ			3.0	0.40	3.0	0.60
	1	広さ・収納性	-	-	-	-
	2	高度情報通信設備対応	-	-	3.0	1.00
	3	バリアフリー計画	3.0	1.00	-	-
1.2 心理性・快適性			1.0	0.30	2.0	0.40
	1	広さ感・景観	-	-	3.0	0.50
	2	リフレッシュスペース	-	-	-	-
	3	内装計画	1.0	1.00	1.0	0.50
1.3 維持管理			2.5	0.30	-	-
	1	維持管理に配慮した設計	3.0	0.50	-	-
	2	維持管理用機能の確保	2.0	0.50	-	-
2 耐用性・信頼性				2.9	0.30	2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振			3.0	0.50	-	-
	1	耐震性(建物のこわれにくさ)	3.0	0.80	-	-
	2	免震・制震・制振性能	3.0	0.20	-	-
	2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30	-	-
	1	躯体材料の耐用年数	3.0	0.20	-	-
	2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	3.0	0.20	-	-
	3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	3.0	0.10	-	-
	4	空調換気ダクトの更新必要間隔	3.0	0.10	-	-
	5	空調・給排水配管の更新必要間隔	3.0	0.20	-	-
	6	主要設備機器の更新必要間隔	3.0	0.20	-	-
	2.4 信頼性		2.6	0.20	-	-
	1	空調・換気設備	3.0	0.20	-	-
	2	給排水・衛生設備	2.0	0.20	-	-
	3	電気設備	3.0	0.20	-	-
	4	機械・配管支持方法	3.0	0.20	-	-
	5	通信・情報設備	2.0	0.20	-	-

3	対応性・更新性			3.0	0.30	2.9	1.00	2.9
	3.1 空間のゆとり			-	-	2.8	0.50	
	1	階高のゆとり	階高2.9m	-	-	4.0	0.60	
	2	空間の形状・自由さ	—	-	-	1.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり		—	-	-	3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-	
	1	空調配管の更新性	—	3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性	—	3.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性	—	3.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性	—	3.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性	—	3.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保	—	3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境（敷地内）				—	0.30	-	-	2.5
1	生物環境の保全と創出		—	2.0	0.30	-	-	2.0
2	まちなみ・景観への配慮		—	3.0	0.40	-	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上	—	2.0	0.50	-	-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上	—	3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-		-	3.4
LR1 エネルギー				—	0.40	-	-	4.1
1	建物外皮の熱負荷抑制		住戸部断熱等級5	4.0	0.20	-	-	4.0
2	自然エネルギー利用		—	3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化		BEI0.44(再エネ有) BEI0.71(再エネ無)	4.9	0.50	-	-	4.9
	集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
	集合住宅の評価			4.9	1.00	-	-	
4	効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
	4.1	モニタリング	—	-	-	-	-	
	4.2	運用管理体制	—	-	-	-	-	
	集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング	—	3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制	—	3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル				—	0.30	-	-	2.5
1	水資源保護			2.2	0.20	-	-	2.2
	1.1	節水	—	1.0	0.40	-	-	
	1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無	—	3.0	1.00	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無	—	-	-	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減			2.4	0.60	-	-	2.4
	2.1	材料使用量の削減	—	2.0	0.11	-	-	
	2.2	既存建築躯体等の継続使用	—	3.0	0.22	-	-	
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	—	3.0	0.22	-	-	
	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	—	1.0	0.22	-	-	
	2.5	持続可能な森林から産出された木材	—	-	-	-	-	
	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	—	3.0	0.22	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
	3.1	有害物質を含まない材料の使用	—	3.0	0.30	-	-	
	3.2	フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	-	
	1	消火剤	—	-	-	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)	—	3.0	0.50	-	-	
	3	冷媒	—	3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				—	0.30	-	-	3.4
1	地球温暖化への配慮		換算スコア4.5 ライフサイクルCO2排出率60%	4.5	0.33	-	-	4.5
2	地域環境への配慮			2.8	0.33	-	-	2.8
	2.1	大気汚染防止	—	3.0	0.25	-	-	
	2.2	温熱環境悪化の改善	—	3.0	0.50	-	-	
	2.3	地域インフラへの負荷抑制		2.2	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減	—	3.0	0.25	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制	—	3.0	0.25	-	-	
	3	交通負荷抑制	—	2.0	0.25	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制	—	1.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
	3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
	1	騒音	—	3.0	1.00	-	-	
	2	振動	—	-	-	-	-	
	3	悪臭	—	-	-	-	-	
	3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制	—	3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制	—	-	-	-	-	
	3	日照障害の抑制	—	3.0	0.30	-	-	
	3.3	光害の抑制		3.0	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	—	3.0	0.70	-	-	
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	—	3.0	0.30	-	-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	－	－		－	－	－	－	－	－	－					
1.3.1 維持管理に配慮した設計	3.0		－	－	○	－	○	○	－	－	－	－	－	－	－
1.3.2 維持管理用機能の確保	－		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
2.4.1 空調・換気設備	－		○	－	－	－	－								
2.4.2 給排水・衛生設備	1.0	1.0	○	－	－	－	－	－	－						
2.4.3 電気設備	1.0	－	－	－	－	○	－	－							
2.4.5 通信・情報設備	1.0		－	－	○	－	－	－							
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	6.0		2.0	－	2.0	－	1.0	－	1.0	－	－	－	－		
2 まちなみ・景観への配慮	3.0		2.0	1.0	－	－	－	－							
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	1.0		－	－	－	－	－	1.0	－	－					
3.2 敷地内温熱環境の向上	9.0		2.0	2.0	－	1.0	－	－	－	2.0	2.0				
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	－		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無			－	－	－	－	－	－	－	－					
2.1 材料使用量の削減	－		－	－	－										
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			－	－	－	－	－								
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	－		－	－	－	－									
3.1 有害物質を含まない材料の使用	－														
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	10.0		1.0	－	－	3.0	1.0	－	－	2.0	3.0	－			
2.3.3 交通負荷抑制	1.0		－	－	1.0	－	－	－							
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	－		－	－	－	－		－	－						
3.2.2 砂塵の抑制	－		－	－											
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	2.0		－	2.0											

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC		窓の日射熱取得率(η)			
U値(W/m2K)	窓システム	屋根	外壁	床	
住戸部分	窓システムU値 2.9	外皮UA値 0.5	η AC 1.7	η AH 0.7	
昼光率					
自然換気有効開口面積率					

3.1.1 昼光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

執務スペース	－	/人	病床	－	/床	シングル	－	ツイン	－
--------	---	----	----	---	----	------	---	-----	---

1.1.2 高度情報通信設備対応

コンセント容量	－	VA/m ²
---------	---	-------------------

1.2.1 広さ感・景観

天井高	－	m
-----	---	---

1.2.2 リフレッシュスペース

リフレッシュスペース	－	レストスペース－
------------	---	----------

2.2.1 躯体材料の耐用年数

想定耐用年数	－	年
--------	---	---

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

想定必要間隔	－	年
--------	---	---

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

想定必要間隔	－	年
--------	---	---

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

想定必要間隔	－	年
--------	---	---

3.1.1 階高のゆとり

階高	2.9	m
----	-----	---

3.1.2 空間の形状・自由さ

壁長さ比率	－	
-------	---	--

3.2 荷重のゆとり

床荷重	－	N/m2
-----	---	------

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

外構緑化指数	23%	建物緑化指数	0%
--------	-----	--------	----

3.2 敷地内温熱環境の向上

空地率	66%	水平投影面積率	0%	地表面対策面積率	15%	舗装面積率	53%
-----	-----	---------	----	----------	-----	-------	-----

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

BPI/BPI _m	0.97	断熱等性能等級	等級5 相当
----------------------	------	---------	--------

2 自然エネルギー利用

自然エネルギー直接利用量	0 MJ/年m ²	採光を満たす教室数	－	採光を満たす住戸数	－
--------------	----------------------	-----------	---	-----------	---

3 設備システムの高効率化

通風を満たす教室数	－	通風を満たす住戸数	－
-----------	---	-----------	---

非住宅部分

太陽光	59.4kW	太陽熱等	.0kW	蓄電池	.0kW
-----	--------	------	------	-----	------

集合住宅の評価

BEI/BEI _m	再エネ有	－	無	－	オフサイト再エネ有	－	－
----------------------	------	---	---	---	-----------	---	---

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

雨水利用率	－				
-------	---	--	--	--	--

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

特定調達品目	－	エコマーク商品	－	自治体指定の特定品目等	－
--------	---	---------	---	-------------	---

2.5 持続可能な森林から産出された木材

使用比率	－				
------	---	--	--	--	--

3.2.1 消火剤

オゾン層破壊係数(ODP)	－	地球温暖化係数(GWP)	－
---------------	---	--------------	---

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)	
---------------	--	--------------	--

3.2.3 冷媒

オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)	
---------------	--	--------------	--

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比	142%	隣棟間隔指標R _w	1.90
-------	------	----------------------	------

地表面対策面積率	15.0%	屋根面对策面積率	0.0%	外壁面对策面積率	0.0%
----------	-------	----------	------	----------	------

見付面積S _b	417m ²	卓越風向と直交する最大敷地幅W _s	56.77 m	基準高さH _b	5.17 m
--------------------	-------------------	------------------------------	---------	--------------------	--------

緑地	458m ²	水面	m ²	保水性対策面	m ²	高反射対策面	m ²	再帰性反射対策面	m ²
----	-------------------	----	----------------	--------	----------------	--------	----------------	----------	----------------